

ボリュームの大きさや、最後のバックアップ以降に変更されたブロックの数によっては、スナップショットの作成に少し時間がかかることがあります。スナップショットのステータスは次のコマンドで確認できます。〈スナップショット ID〉は実際の ID に置き換えてください。

```
$ aws ec2 describe-snapshots --region us-east-1 --snapshot-ids <スナップショット ID>
{
  "Snapshots": [
    {
      "Description": "",
      "Encrypted": false,
      "OwnerId": "486555357186",
      "Progress": "100%", ← スナップショットの進行状況
      "SnapshotId": "snap-0070dc0a3ac47e21f",
      "StartTime": "2019-06-20T09:00:14.000Z",
      "State": "completed", ← スナップショットのステータス
      "VolumeId": "vol-0317799d61736fc5f",
      "VolumeSize": 5,
    }
  ]
}
```

スナップショットは、アタッチされ、マウントされたボリュームで作成できますが、書き込まれるデータがディスクにフラッシュされていない場合は問題になることがあります。スナップショットを作成する前に、EC2 インスタンスからボリュームをデタッチするか、EC2 インスタンスを停止する必要があります。ボリュームの使用中にどうしてもスナップショットを作成する必要がある場合は、次の手順に従って安全な方法で作成してください。

1. 仮想マシンで次のコマンドを実行し、すべての書き込みを凍結します。

```
fsfreeze -f /mnt/volume
```

2. スナップショットを作成し、**pending** 状態になるまで待ちます。
3. 仮想マシンで次のコマンドを実行し、書き込みの凍結を解除します。

```
fsfreeze -u /mnt/volume/
```

4. スナップショットが完成するのを待ちます。

スナップショットのステータスが **pending** になったらすぐにボリュームの凍結を解除してください。スナップショットが完成するのを待つ必要はありません。

EBS スナップショットを作成しておけば、EBS ボリュームの故障や人為的なミスによってデータが失われる心配をせずに済みます。データは EBS スナップショットから復元できます。

スナップショットからデータを復元するには、そのスナップショットに基づいて新しい EBS ボリュームを作成する必要があります。そのためには、ターミナルで次のコマンドを実行します。〈スナップショット ID〉は実際の ID に置き換えてください。